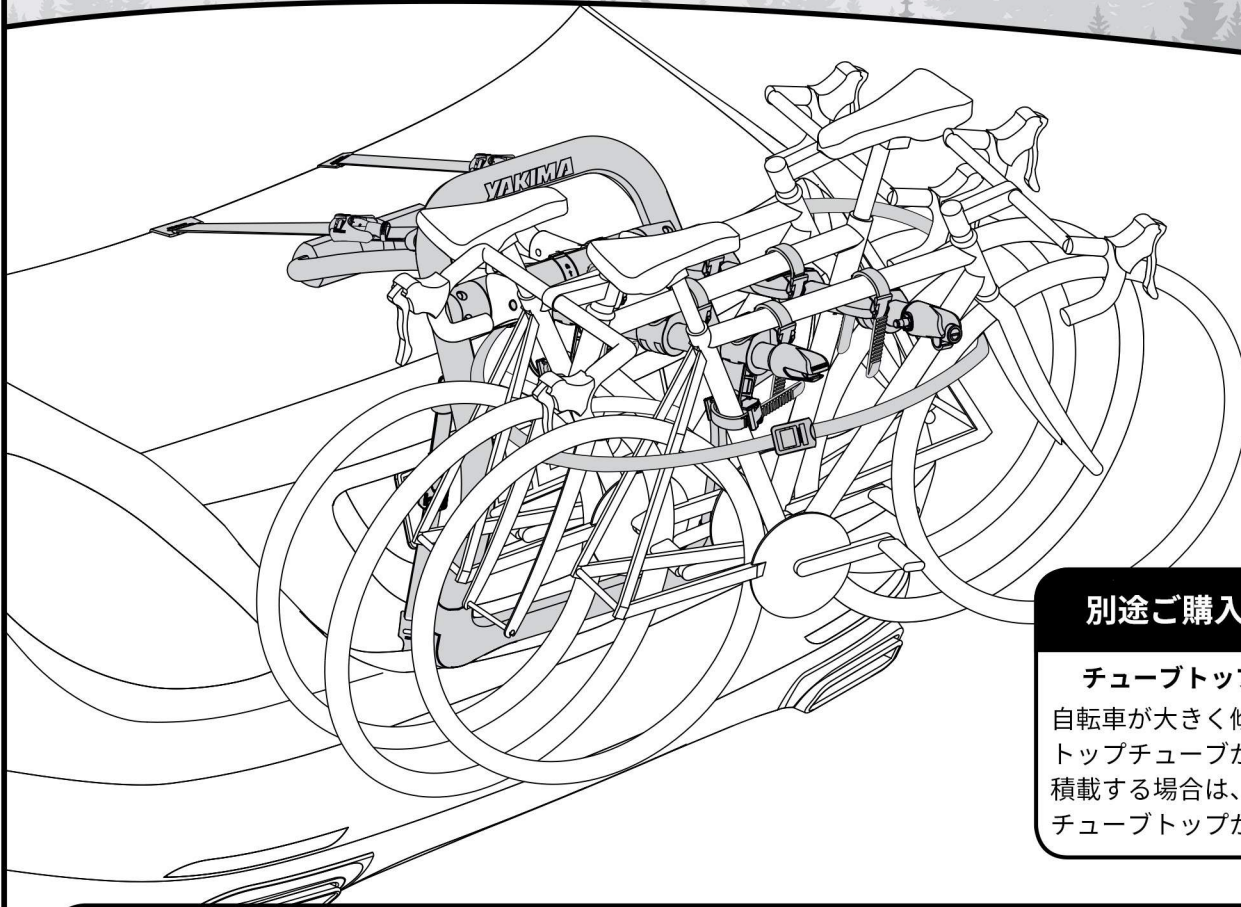


YAKIMA

FullBack™

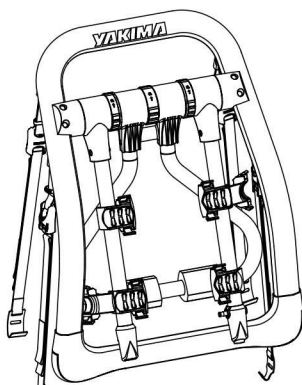


別途ご購入ください

チューブトップ #8002531

自転車が大きく傾く場合や
トップチューブがない自転車を
積載する場合は、YAKIMAの
チューブトップが必要です。

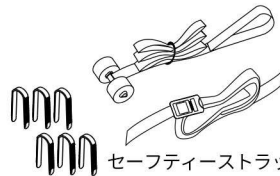
セット内容



本体 1個

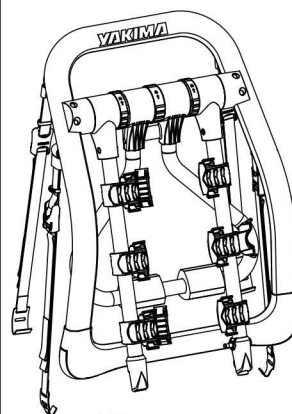
フルバック2 (自転車2台積み)

セキュリティストラップ 1本



ジップストラップ
6個

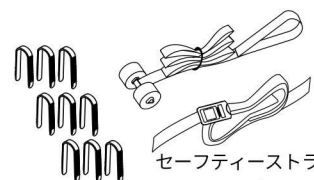
セーフティストラップ
1本



本体 1個

フルバック3 (自転車3台積み)

セキュリティストラップ 1本



ジップストラップ
9個

セーフティストラップ
1本



フルバック2 積載可能な自転車

16kg/1台あたり

32kg/2台合計



フルバック3 積載可能な自転車

13.5kg/1台あたり

40.5kg/3台合計

取り付け

1



www.fitlookup.yakima.com

上記のサイトで、お車に適したハブ調整と注意事項をご確認いただけます。不明な場合は、購入された販売店までお問い合わせください。

ハブ調整

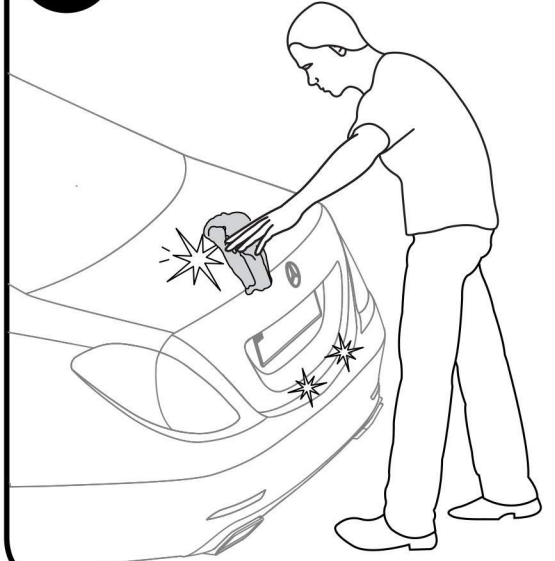


取り付けに関する注意事項



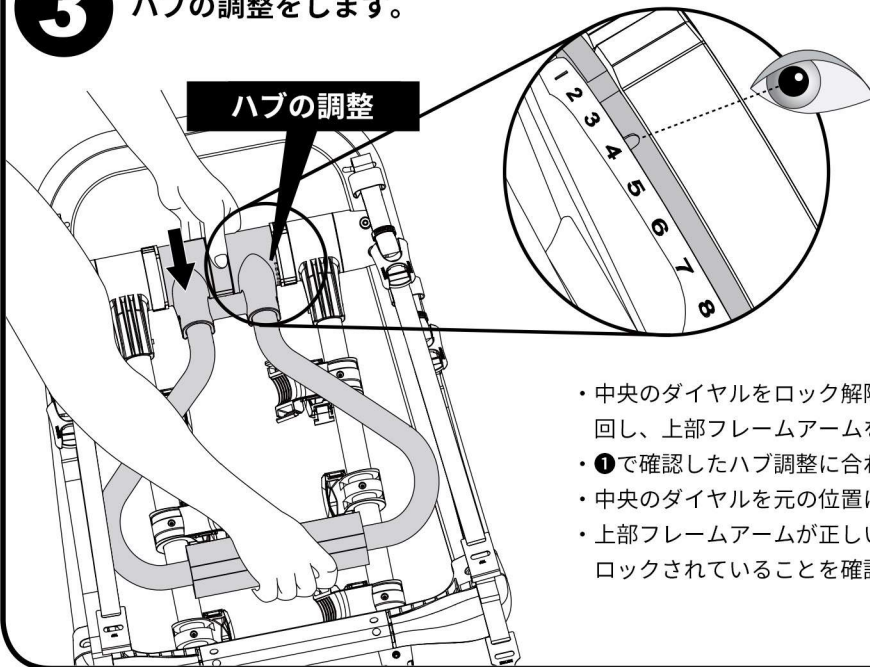
2

取り付けの前に、車両の清掃を行ってください。



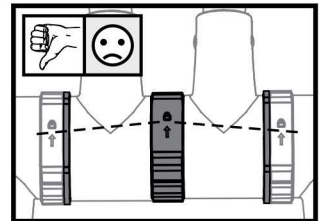
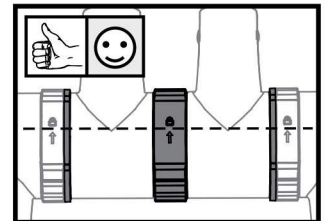
3

ハブの調整をします。



ハブの調整

- 中央のダイヤルをロック解除アイコンの方向に回し、上部フレームアームを開きます。
- ①で確認したハブ調整に合わせます。
- 中央のダイヤルを元の位置に戻してください。
- 上部フレームアームが正しい位置にロックされていることを確認してください。

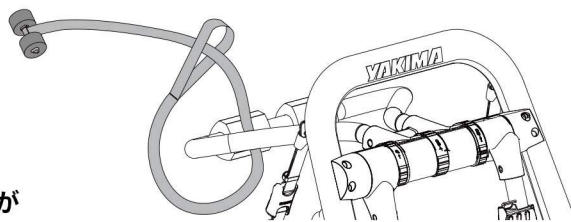


セキュリティストラップ(任意)

セキュリティストラップを取り付けることができます。

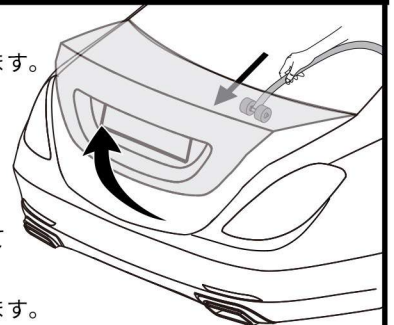


雨天時には、車内に雨水が侵入する場合があります。



セキュリティストラップをフレームに巻き付け、図のようにアンカーをループにとおします。

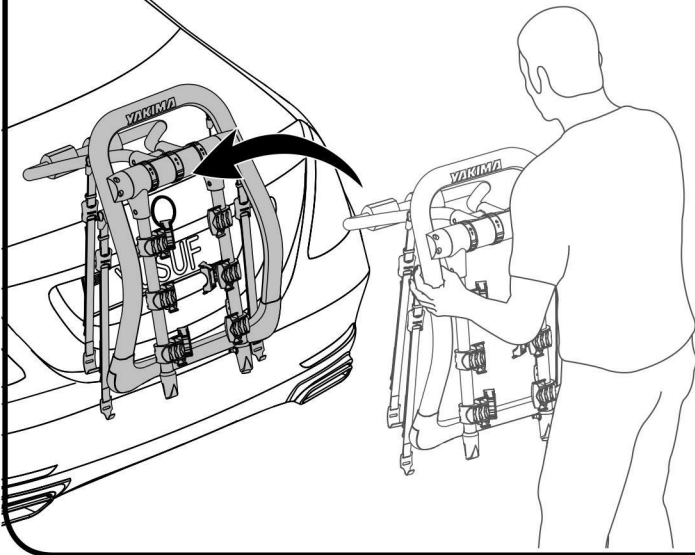
- トランクまたはハッチを開きます。
- アンカーを、トランクまたはハッチと車両の間の隙間からとおします。
- ストラップがトランクまたはハッチとヒンジの間に挟まっていることを確認してください。
- トランクまたはハッチを閉じます。



4 フルバックを配置します。



損傷を防ぐため、車両ごとの取り付けに関する注意事項を必ず守って配置してください。



フレーム上部

- ・フレーム下部に対する相対的なものであり、車両によって異なります。
- ・スポイラーには絶対に接触しないように配置してください。

フレーム下部

- ・荷重を支えるうえで、フレーム下部の配置は極めて重要です。
- ・適切な配置位置は、バンパーの上端・トランクまたはハッチの下端です。
- ・最も丈夫な箇所に配置してください。
- ・フレーム下部を、ガラス・プラスチック・薄い金属の上に置かないでください。
- ・多くの車のトランクやテールゲートには、荷重がかかるとへこんでしまう、弱い金属の部分があります。
- ・フルバックを車両のエンブレムの上に置かないでください。



取り付けに関する注意事項に、トップストラップのフックをアンカー方式で取り付ける必要があると記載されていましたか？

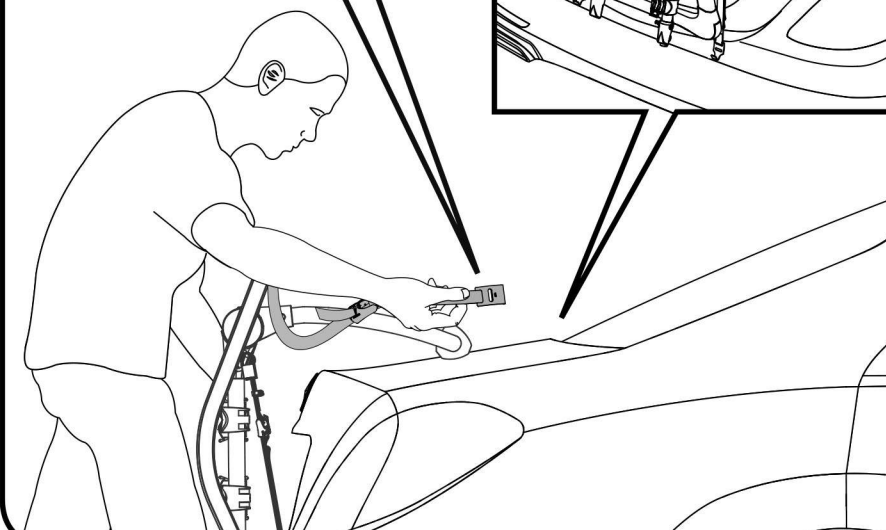
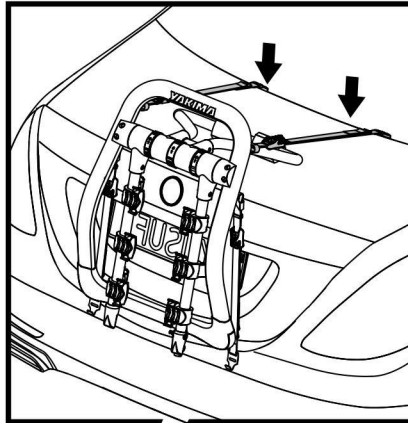
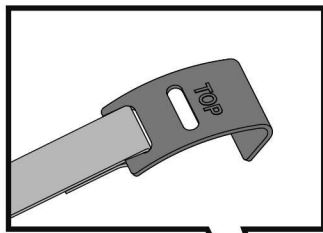
ある

ステップ⑤をスキップして、4ページに進んでください。

ない

ステップ⑤に進んでください。

5 トップフックを取り付けます。



- ・体でフルバックを支えながら、トップフックをトランクまたはハッチ上端にかけます。フルバックが所定の位置に固定されるまで、トップストラップを締めてください。
- ・縫い目の幅が広い部分にフックをかけ、車両上の推奨位置にスライドさせて固定する必要がある場合があります。
- ・フルバック本体よりも幅が広がらないよう、トップストラップを上部フレームアームに沿わせるような形で取り付けてください。
- ・フックがかけられない場合は、4ページの手順に従って、フックを車内側に引っ掛ける方法(アンカー方式)で取り付けてください。
- ・フックをプラスチック部分やスポイラーにかけないでください。
- ・フックをガラスハッチのガラス部分に取り付けしないでください。ガラスに取り付ける場合は、ガラスリアハッチ用フック(#8002612)を使用してください。
- ・トランクまたはハッチを開ける場合は、キャリアを取り外してください。キャリアを取り付けたままトランクまたはハッチを開けると、車両が損傷する可能性があります。

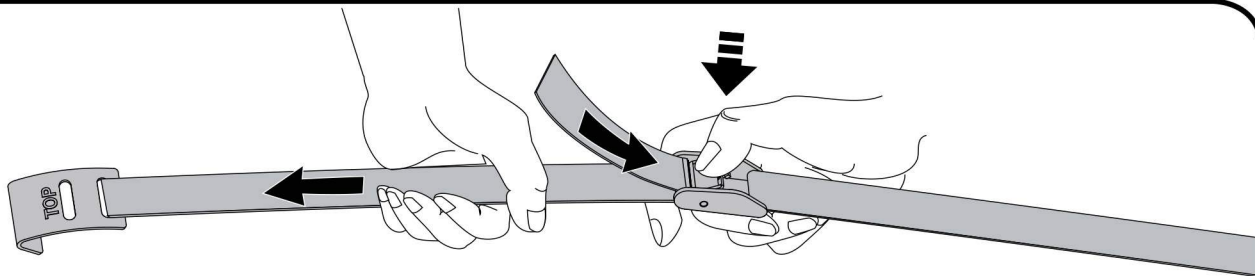
5ページに進んでください。

トップフックを車内側に引っ掛ける(アンカー方式)取り付け方法

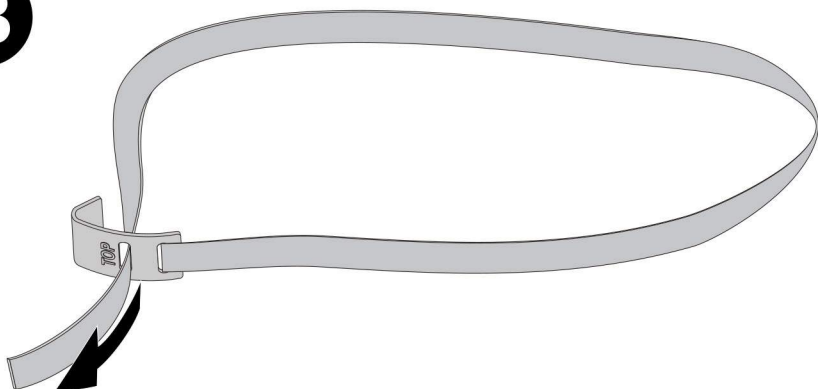


アンカー方式で取り付けが必要がない車両の場合は、このページはスキップしてください。

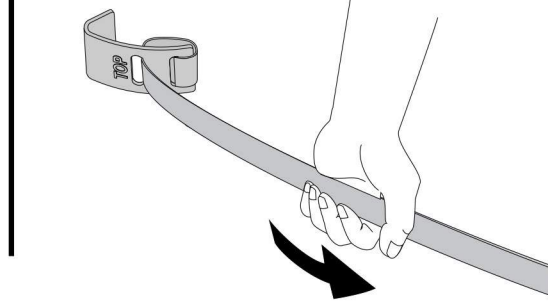
A



B

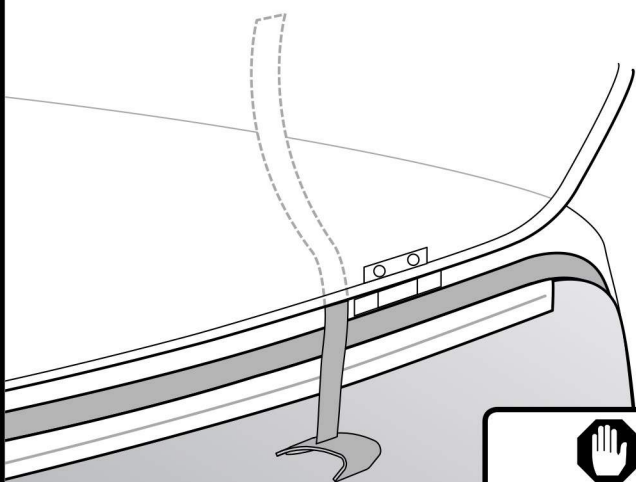


C



D

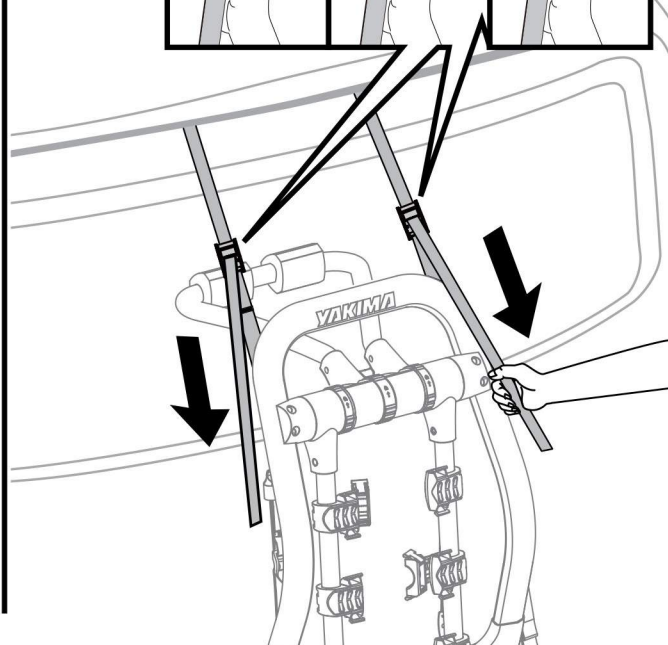
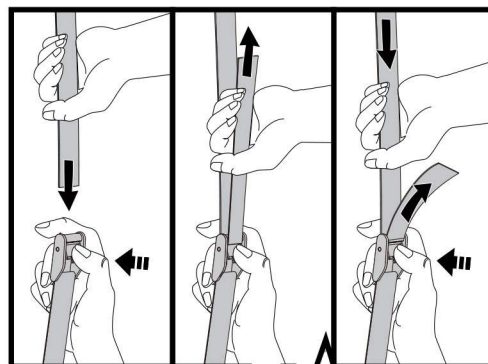
フック(アンカー)がハッチと車体のフレームに接触していないことを確認してください。



警告

フック(アンカー)をガラスにあてないでください。

E





取り付けに関する注意事項に、
ボトムストラップのフックを
アンカー方式で取り付ける
必要があると記載されて
いましたか？

ある

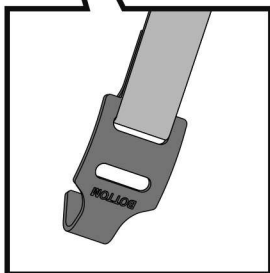
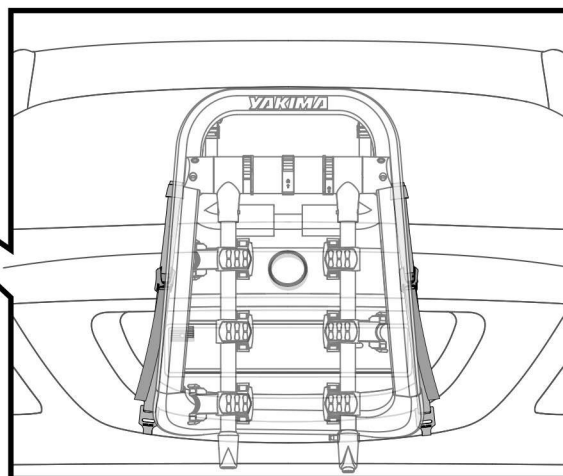
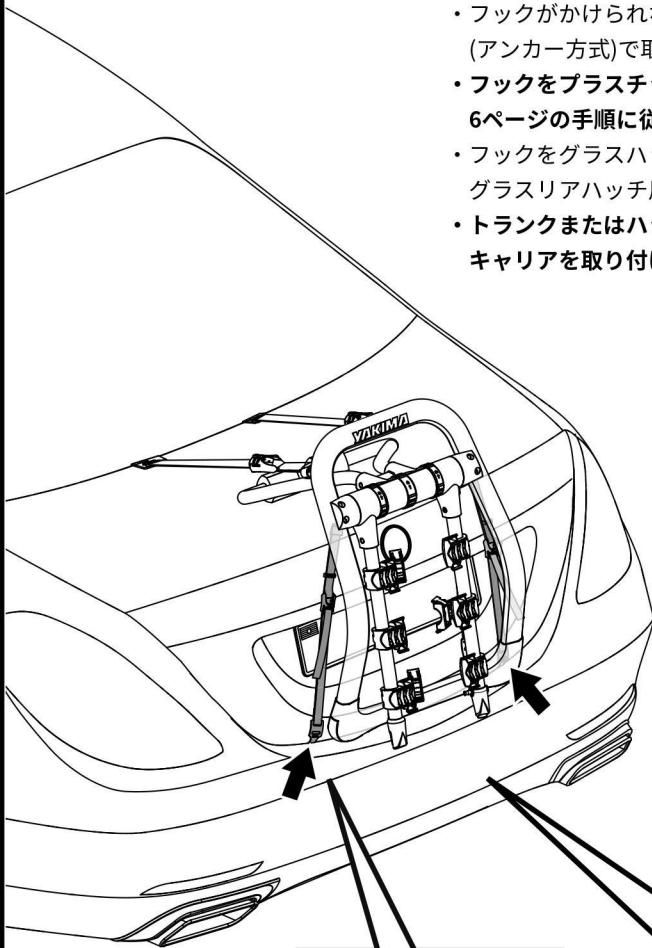
ステップ⑥をスキップして、
6ページに進んでください。

ない

ステップ⑥に進んでください。

6 ボトムフックを取り付けます。

- 適切な取り付け位置は、トランクまたはハッチの下端などです。
車両下部の固定用フックやバンパーの金属製の突起も使用できます。
- 最も丈夫な箇所に配置してください。
- 縫い目の幅が広い部分にフックを取り付け、車両上の推奨位置にスライドさせて固定する必要がある場合があります。
- フックがかけられない場合は、6ページの手順に従ってフックを車内側に引っ掛ける方法(アンカー方式)で取り付けてください。
- フックをプラスチック部分やスポイラーにかけないでください。
6ページの手順に従ってフックを車内側に引っ掛ける方法(アンカー方式)で取り付けてください。
- フックをガラスハッチのガラス部分に取り付けしないでください。ガラスに取り付ける場合は、
グラスリアハッチ用フック(#8002612)を使用してください。
- トランクまたはハッチを開ける場合は、キャリアを取り外してください。
キャリアを取り付けたままトランクまたハッチを開けると、車両が損傷する可能性があります。



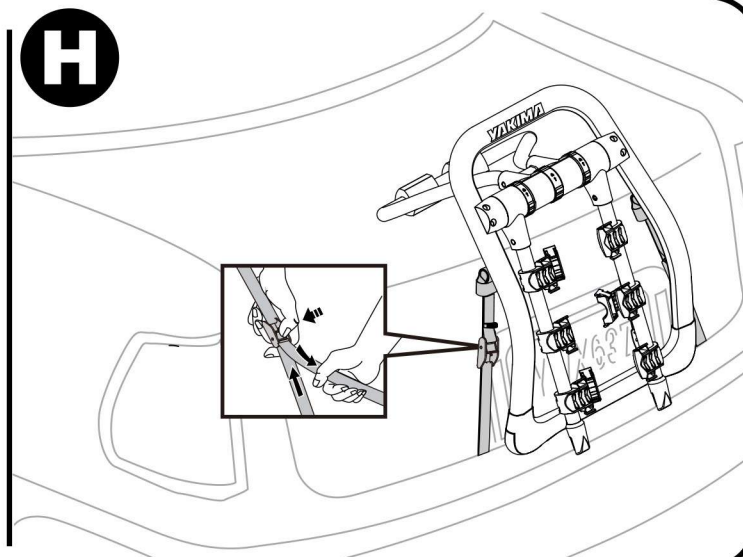
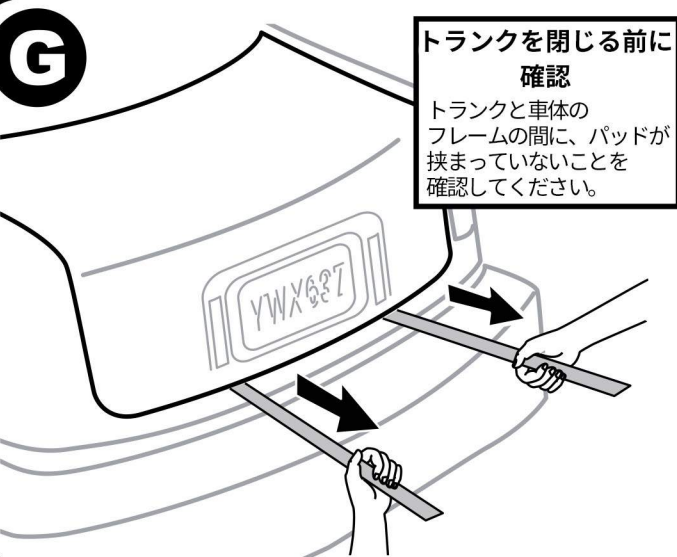
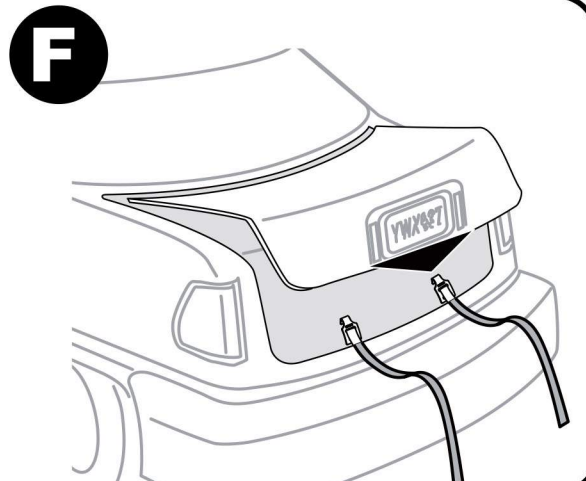
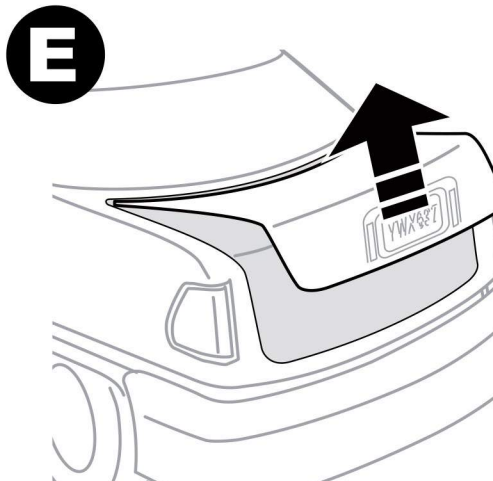
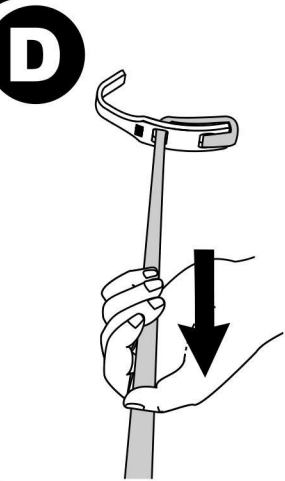
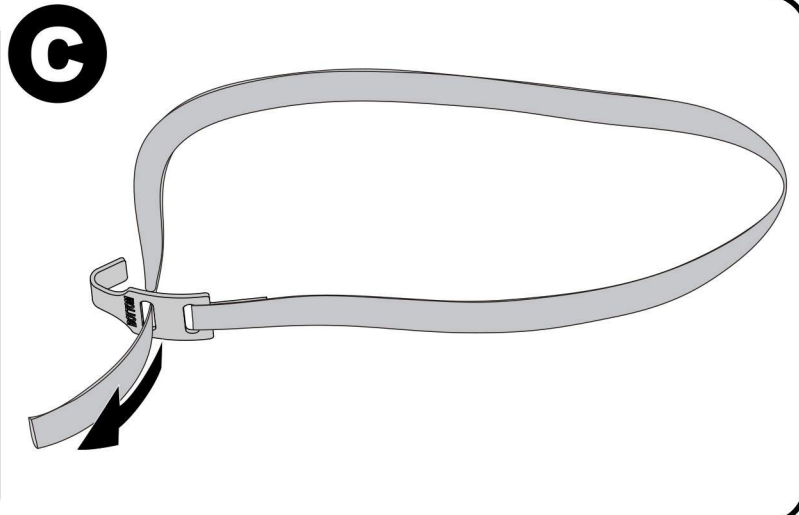
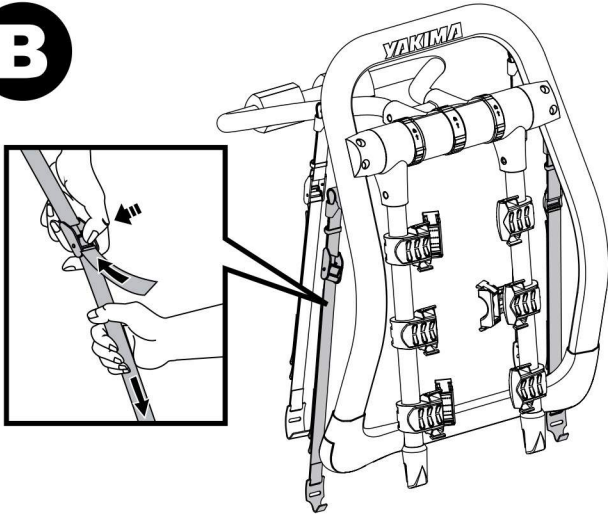
7ページに進んでください。

ボトムフックを車内側に引っ掛ける(アンカー方式)取り付け方法



アンカー方式で取り付ける必要がない車両の場合は、
このページはスキップしてください。

A 車からキャリアを取り外してください。

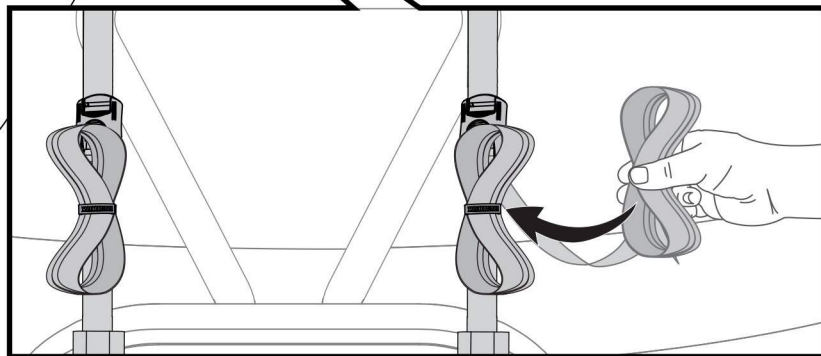
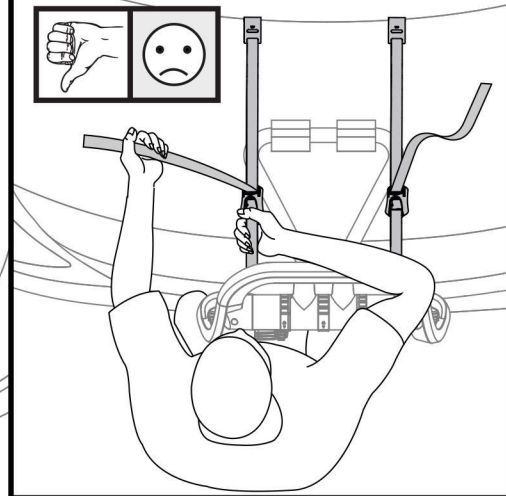


7 トップストラップを完全に締め付けます。

- ・十分な力を入れて、トップストラップを車両の前方に向かって引っ張り、トップストラップを完全に締め付けてください。



トップストラップを横方向に引っ張らないでください。

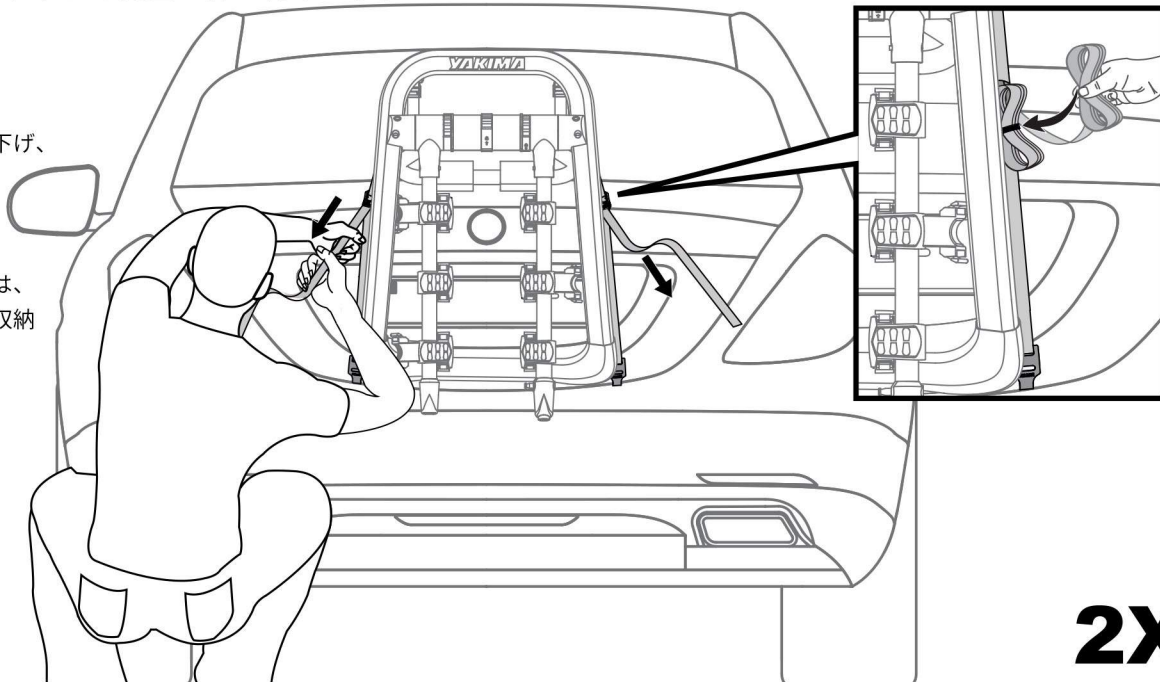


- ・余分なストラップ端は、ゴム製のストラップ収納バンドを使用して留めてください。

2X

8 ボトムストラップを完全に締め付けます。

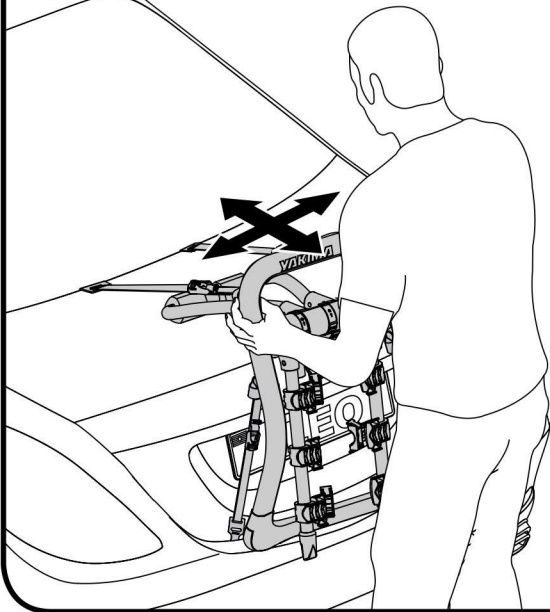
- ・十分な力を入れて、ボトムストラップを地面に向かって引き下げ、ボトムストラップを完全に締め付けてください。
- ・余分なストラップ端は、ゴム製のストラップ収納バンドを使用して留めてください。



2X

9

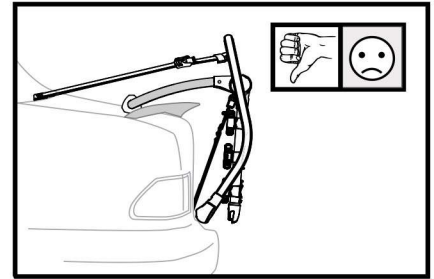
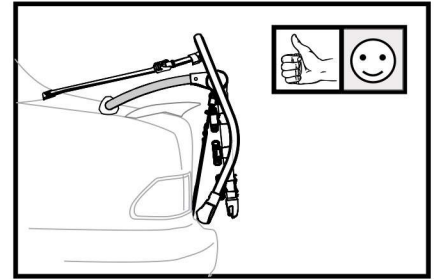
確実に取り付けができていないか確認します。



フルバックをあらゆる方向に揺らし、
車両に確実に固定されているかを
確認してください。
フルバックがずれる場合は、
固定されていません。



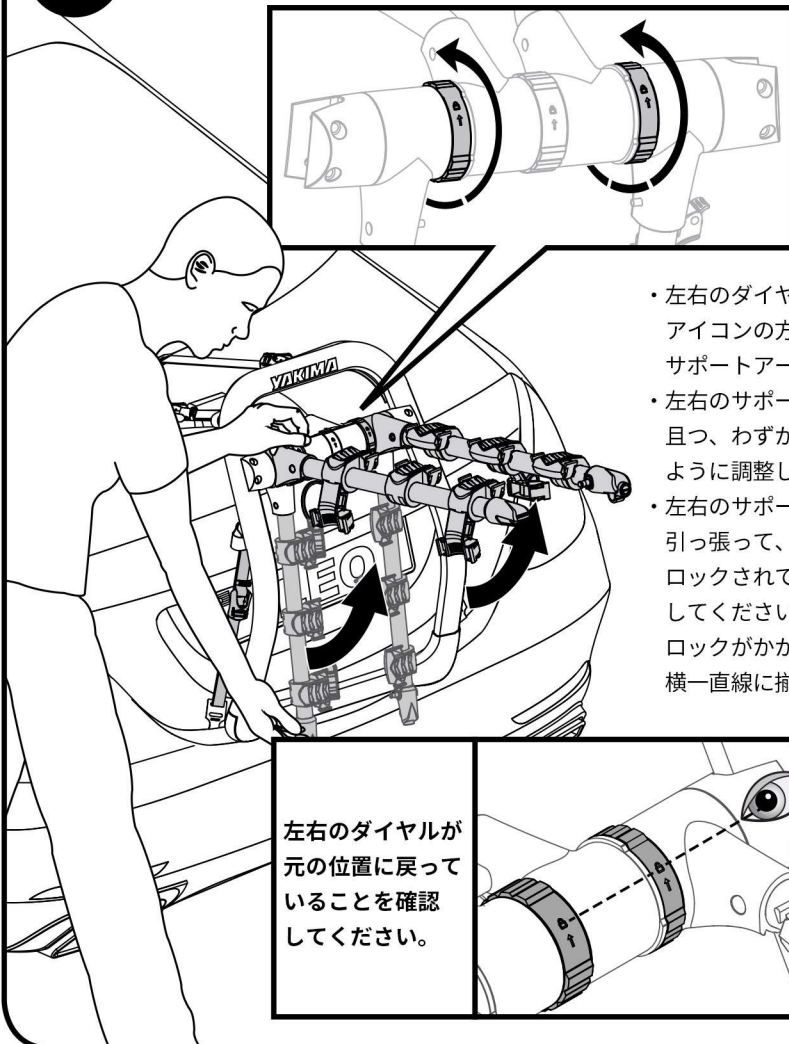
スポイラーには絶対に
接触しないでください。



積み込み

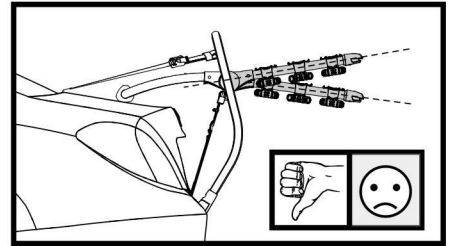
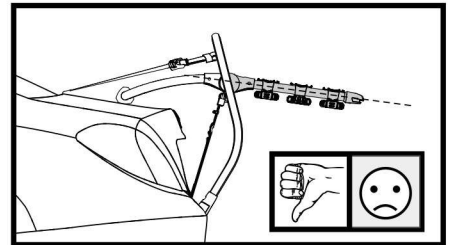
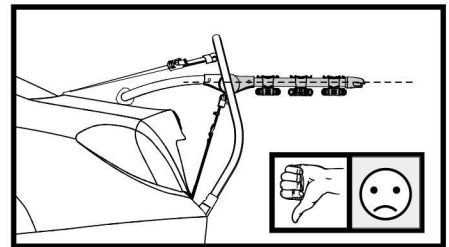
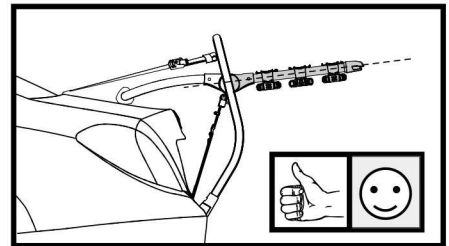
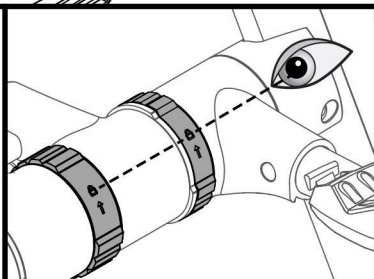
10

サポートアームを開く



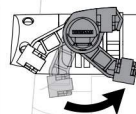
- 左右のダイヤルをロック解除アイコンの方向に回し、サポートアームを開きます。
- 左右のサポートアームは平行且つ、わずかに上向きになるように調整してください。
- 左右のサポートアームを下に引っ張って、正しい位置にロックされていることを確認してください。
ロックがかかるとアイコンが横一直線に揃はずです。

左右のダイヤルが
元の位置に戻って
いることを確認
してください。



11 自転車を積み込みます。

- 自転車は、車両に最も近い箇所から積載してください。
- 最も重い自転車から積載してください。
- 最初に積載する自転車のチェーンが車両に接触しないようにしてください。

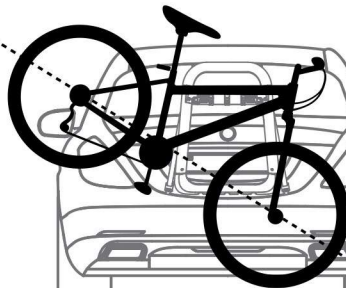
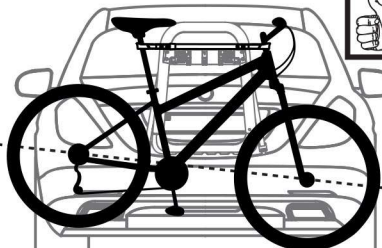


積み込みがし易いように、揺れ防止クレードルを回転させて邪魔にならないようにします。



自転車どうしが接触しないように、向きを交互にしてください。

自転車が大きく傾く場合やトップチューブがない自転車を積載する場合は、YAKIMAのチューブトップ(#8002531)が必要です。

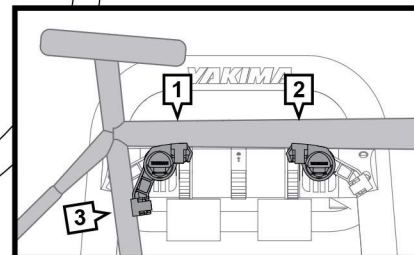
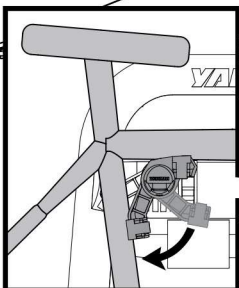


自転車を正しく積載しないと、重大な事故につながる恐れがあります。

最低地上高の問題や自転車の落下を防ぐため、自転車はできる限り水平にしてください。

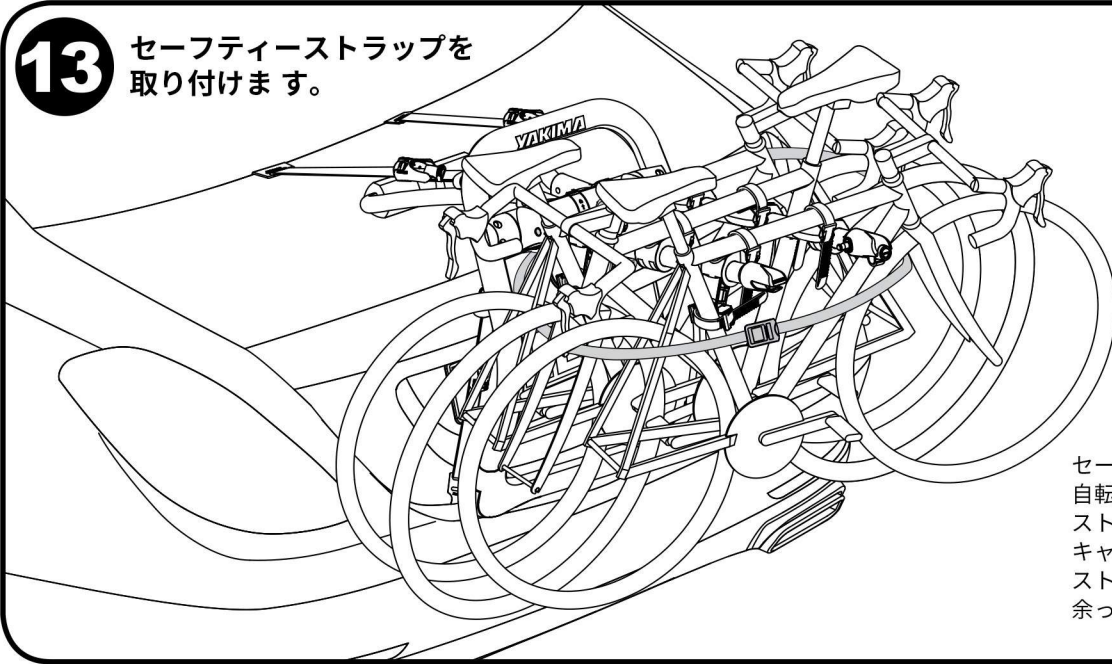
12 自転車を固定します。

- 揺れ防止クレードル回転させて、シートチューブに沿わせてください。
- ジップストラップをクレードルに差し込み、しっかりと固定されるまで自転車のフレームに押し付けます。
- 自転車1台につき、ジップストラップは3本必要です。



13

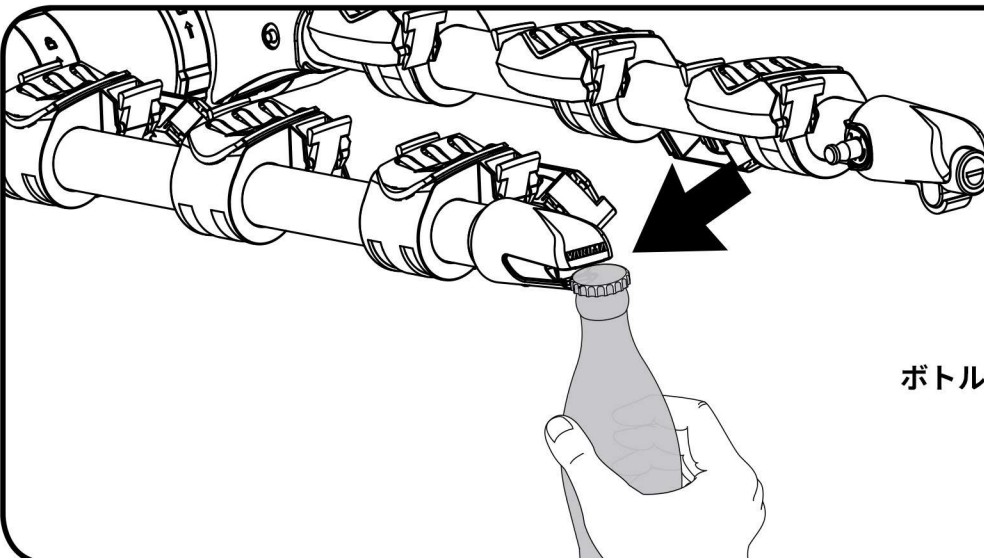
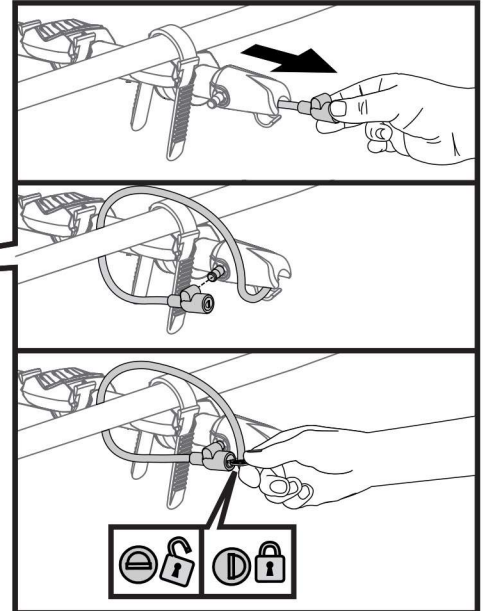
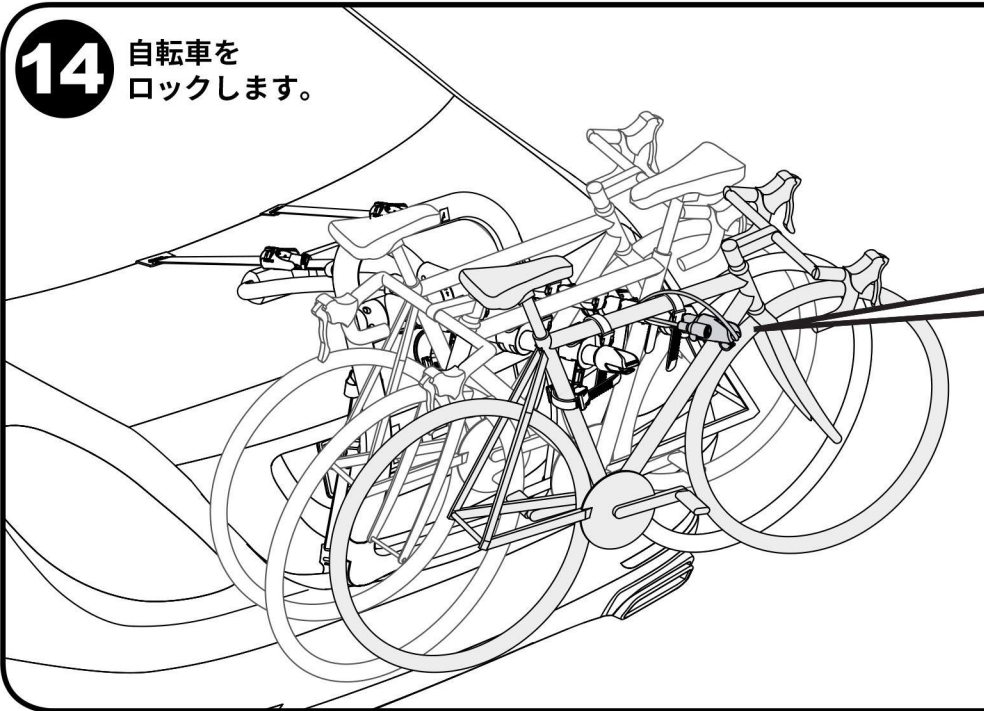
セーフティストラップを
取り付けます。



セーフティストラップを使用して、
自転車をキャリアに固定します。
ストラップを前後のホイールにおし、
キャリアの周囲に巻き付けます。
ストラップをバックルにおして締め、
余った端を固定します。

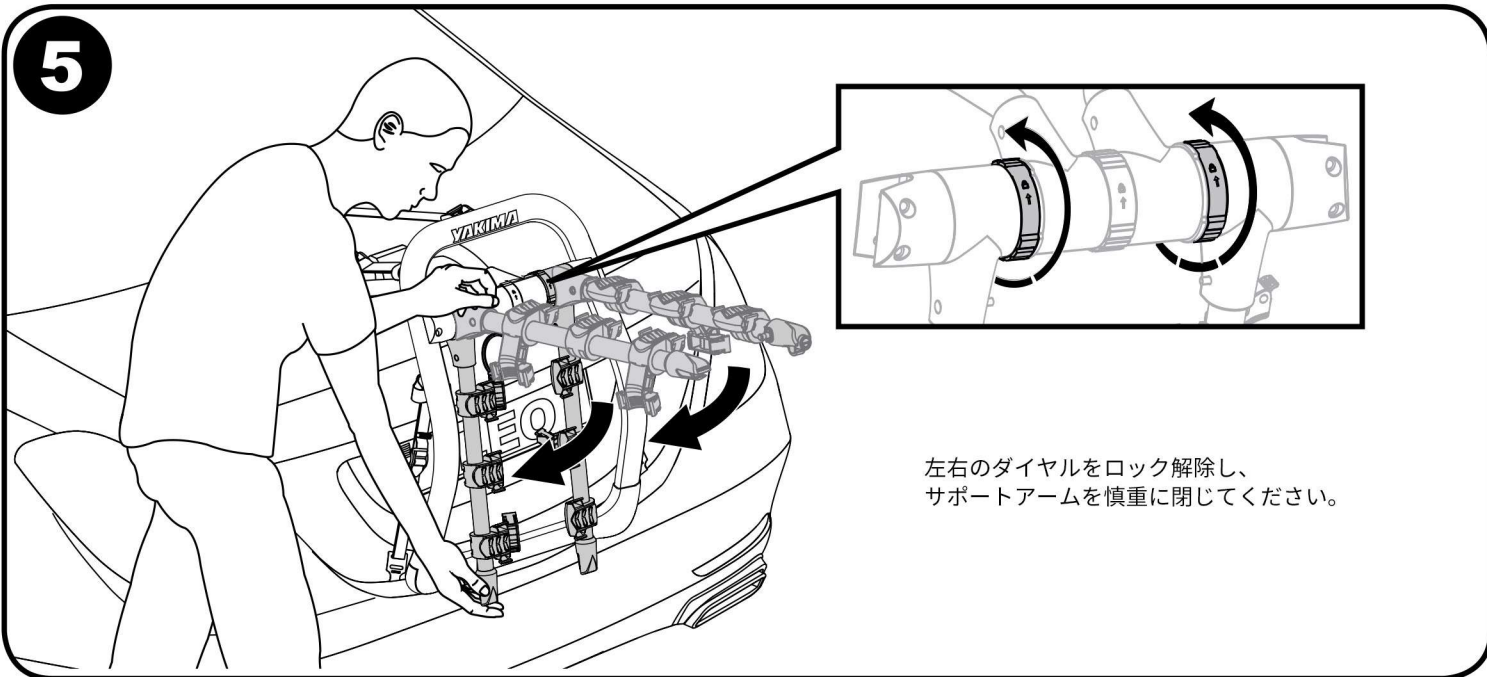
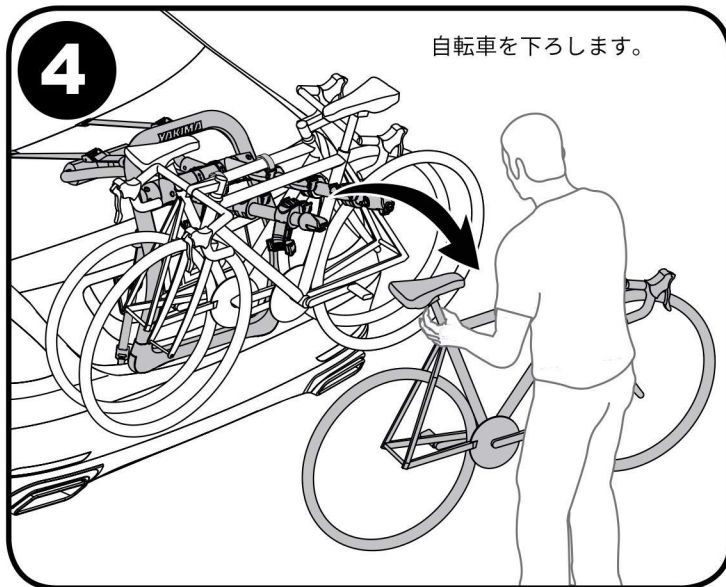
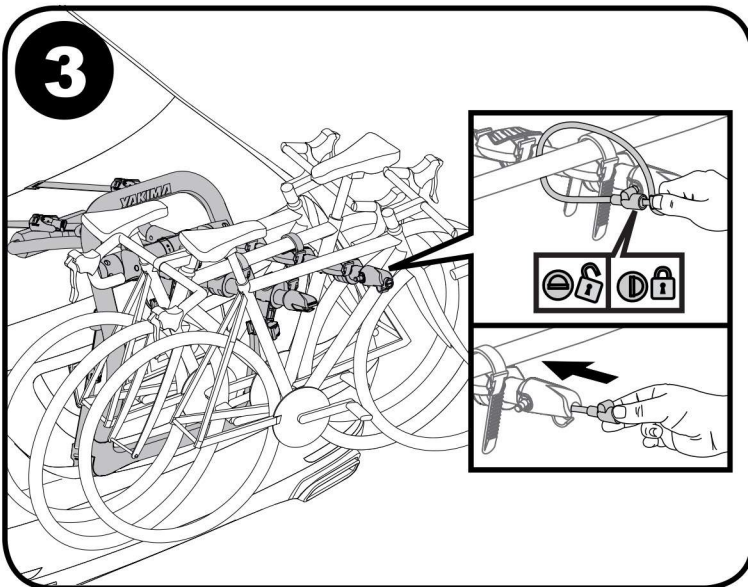
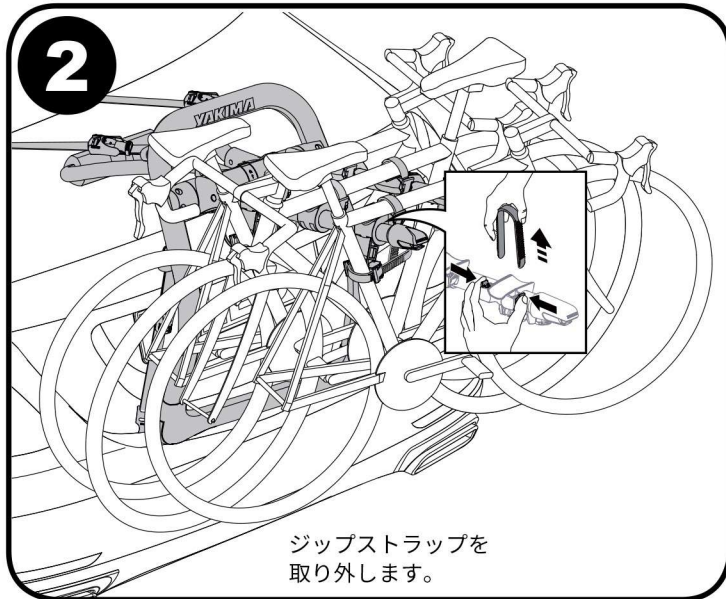
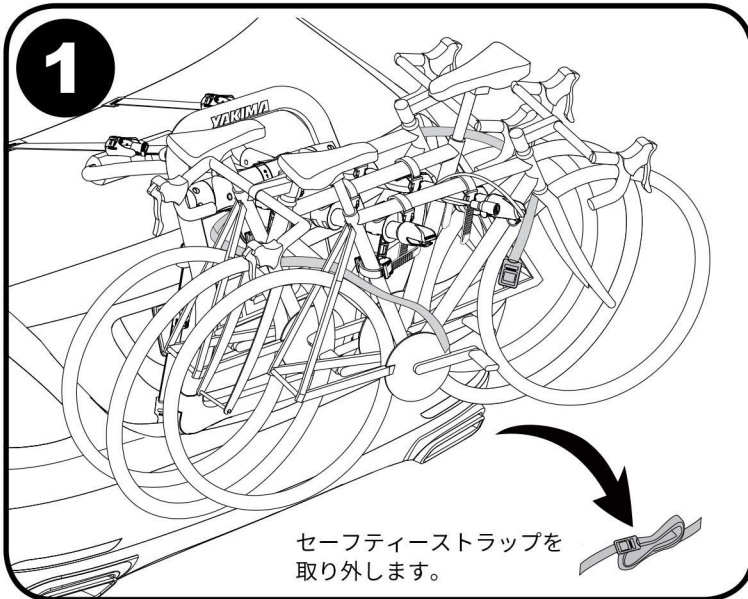
14

自転車を
ロックします。



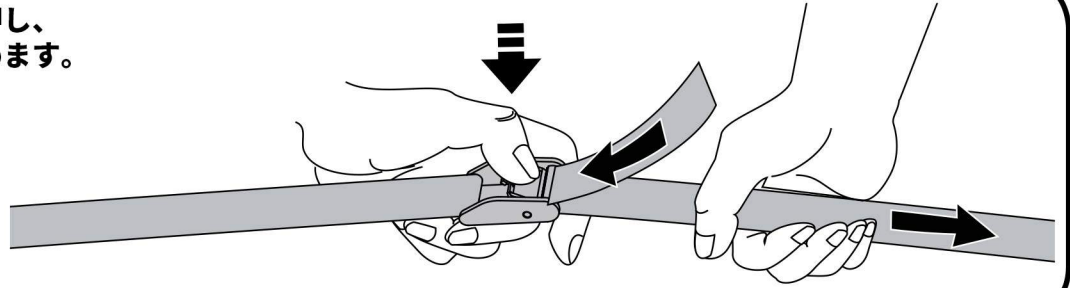
ボトルオープナーが備え付けられています。

積み下ろし



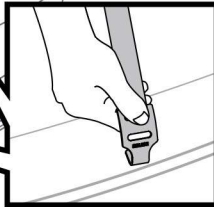
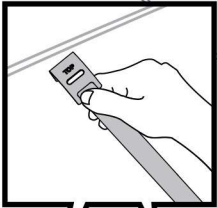
取り外し

1 バックルのボタンを押し、
ストラップを少し緩めます。



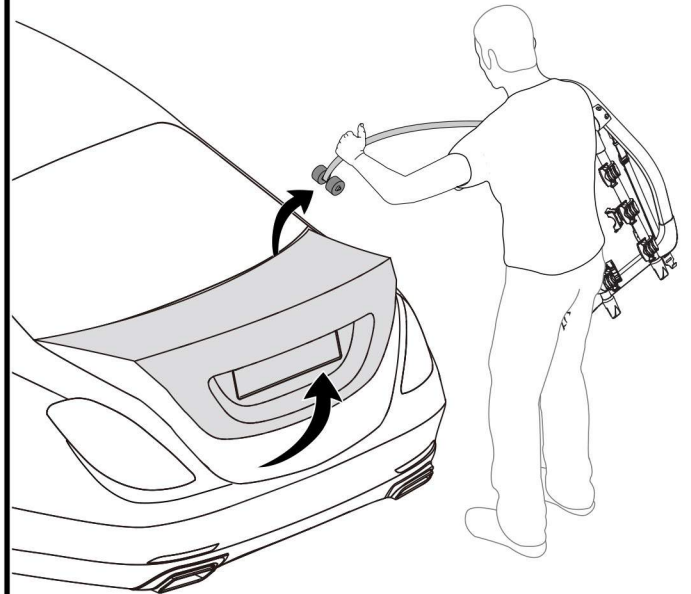
2 フックを外します。

- ・ボトムフックを外します。
- ・体でフルバックを支えながら
トップフックを外します。



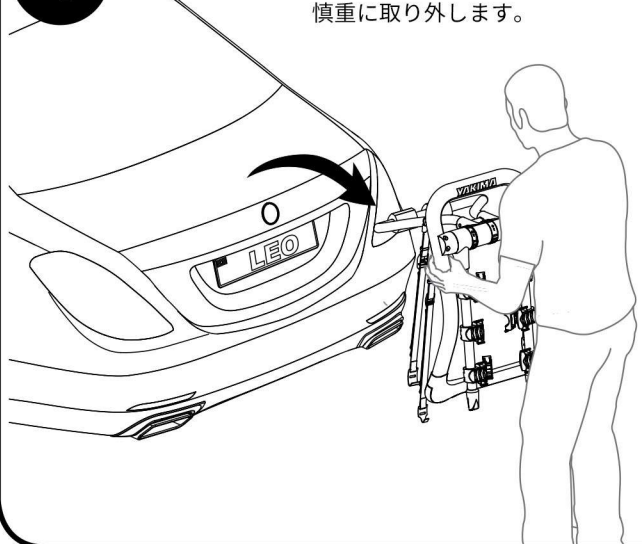
2

3



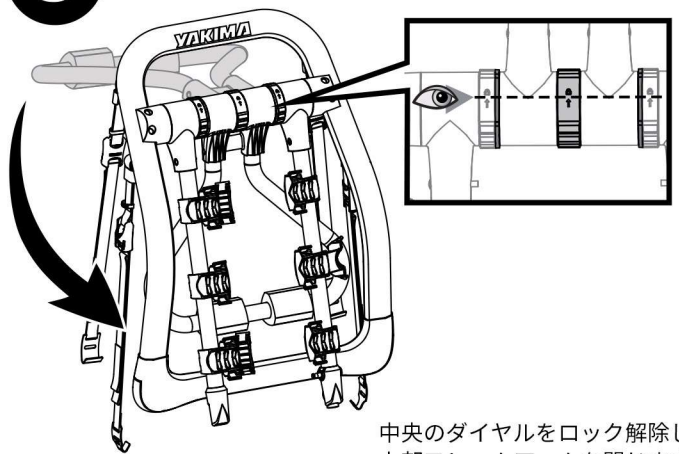
4

車両からフルバックを
慎重に取り外します。



5

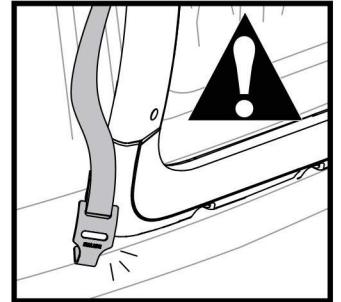
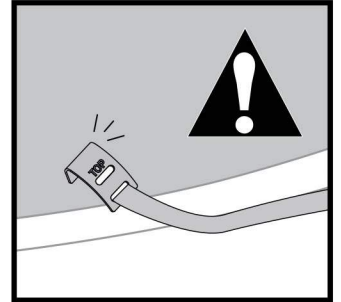
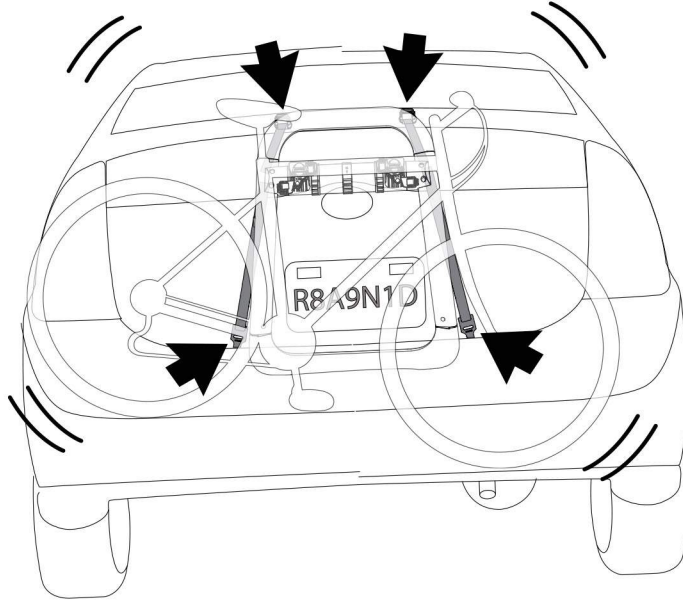
中央のダイヤルをロック解除し、
上部フレームアームを閉じます。



取り外し



ご使用前にはストラップの張りを確認し、使用中もこまめに張りを確認してください。自転車を積み込んだ後はストラップを必ず締め直してください。



重要

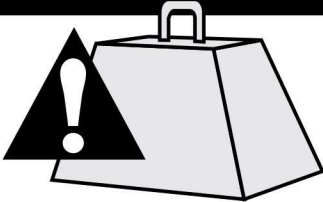


本取付説明書に記載されている全ての警告・注意事項を必ずお読みください。

フルバックの本体重量

フルバック2(自転車2台積み)・・・9.9kg
フルバック3(自転車3台積み)・・・10.4kg

耐荷重



フルバック2(自転車2台積み)
16kg/1台あたり
32kg/2台合計

フルバック3(自転車3台積み)
13.5kg/1台あたり
40.5kg/3台合計

注意：使用前に確認してください

- ・3つの調整ダイヤル全てがロック位置にあるかを確認してください。
- ・使用前には必ずストラップの張りを確認し、使用中もこまめに張りを確認してください。自転車を積み込んだ後は、ストラップを必ず締め直してください。
- ・自転車のタイヤやキャリアのストラップを車両のマフラーに近づけないでください。
- ・自転車を積載した状態でのオフロード走行は絶対にお止めください。
- ・ストラップの確認及び締め付けを怠ると、重大な事故につながる恐れがあります。
- ・自転車のペダルが車両に接触しないようにしてください。
- ・輸送前には、自転車に取り付けられている付属品を全て取り外してください。

重要な注意事項

- ・スポイラーやアンテナなどのカスタムパーツ付き車両には、取り付けができない場合があります。
- ・ストラップを過度に締め過ぎると、車体の弱い部分が損傷するおそれがあります。
- ・2人乗り自転車、リカンベント自転車には使用できません。
- ・トレーラー、キャンピングカー、RVへの取り付けは行わないでください。
- ・キャリアを取り付けた状態でトランクやハッチを開けないでください。車両が損傷するおそれがあります。
- ・摩耗している、またはほつれがあるストラップは交換してください。
- ・フルバックは、自動式または電動式パワーリフトゲートを備えた車両では使用できない場合があります。

メンテナンス

プラスチック部分の清掃は、水と中性洗剤に浸した柔らかい布を使用してください。

注意

自動洗車機を利用する際は
キャリアを取り外してください。

以下の車両にはご注意ください

リアウインドワイパー

- ・キャリアを取り付けた状態では、ワイパーが使用できない場合があります。ワイパーとキャリアが接触しないようにしてください。

スポイラー付き車両

- ・キャリアがスポイラーと接触する場合は、本製品を使用しないでください。

隙間のあるスポイラー

- ・リアスポイラーとリアウインドウまたはハッチとの間に隙間があるSUV・バン・ワゴンの場合、可能な限りトップストラップをスポイラーの下におしてください。ストラップがスポイラーに接触しないようにしてください。

ガラスハッチ付き車両

- ・フックをガラス面に取り付ける場合は、別売りのガラスハッチフックを使用してください。

コンバーチブル車両

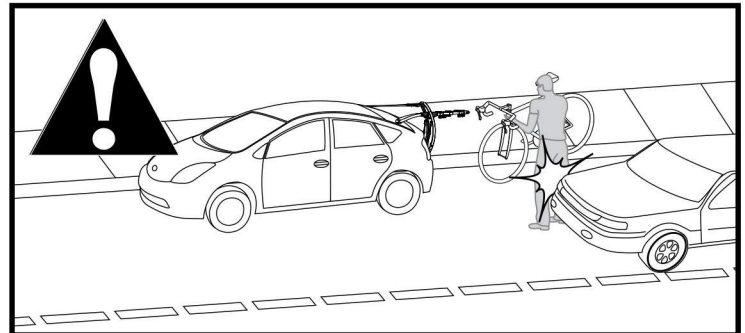
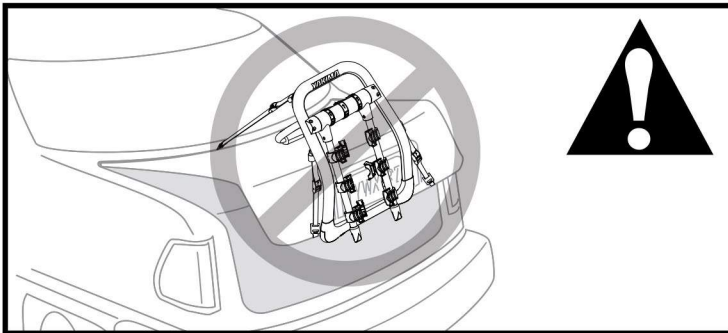
- ・キャリアの上部フレームがコンバーチブルトップに接触しないようにしてください。
- ・キャリアを取り付けた状態でルーフを開閉しないでください。

トランク・ハッチの隙間が狭い

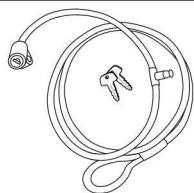
- ・車種によっては、トランクやハッチと車両の隙間が狭すぎて、フックを差し込めない場合があります。その場合は、フックをトランクやハッチの外側から適切な位置までスライドさせてください。それでも隙間が狭い場合は、トランクやハッチを開け、フックを差し込み、車両を傷つけないように慎重に閉じてください。
- ・取り付け作業を続ける前に、トランクやハッチが確実に閉まっていることを確認して行ってください。

ソフトアタッチメントポイント

- ・ストラップを過度に締め過ぎると、車体の弱い部分が損傷するおそれがあります。

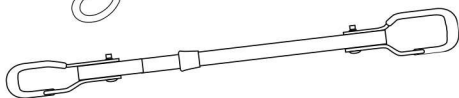


おすすめアクセサリー



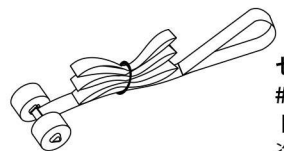
SKSロックケーブル
#8007233

積載物をキャリアに施錠します。



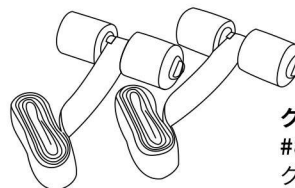
チューブトップ
#8002531

自転車が大きく傾く場合やトップチューブがない自転車を積載する場合は、チューブトップが必要です。



セキュリティーストラップ
#8002623

トランクマウント用サイクルキャリアの盗難防止ストラップです。



ガラスリアハッチ用フック
#8002613

ガラスリアハッチ用の取り付けストラップです。フルバックで使用する場合、積載できる自転車は2台までとなります。

YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>

日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL：0779-89-2171

Mail：info@auto-proz.com

HP：<https://www.auto-proz.com/>

この取付説明書は、取り付け後も大切に保管してください